

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 福

上場会社名 RKB毎日放送株式会社

コード番号 9407 URL <http://rkb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永守 良孝

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 松浦 泰久

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,511	△0.5	1,204	11.7	1,262	10.8	725	16.9
24年3月期第3四半期	17,598	1.2	1,078	28.1	1,139	27.6	620	26.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 524百万円 (8.6%) 24年3月期第3四半期 483百万円 (131.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	66.16	—
24年3月期第3四半期	56.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	37,774	26,493	68.6
24年3月期	39,129	26,137	65.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 25,920百万円 24年3月期 25,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,940	△2.3	1,330	△25.7	1,410	△23.6	760	△19.2	69.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	11,200,000 株	24年3月期	11,200,000 株
25年3月期3Q	231,154 株	24年3月期	229,700 株
25年3月期3Q	10,969,652 株	24年3月期3Q	10,972,325 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,630	0.3	1,460	△14.5	1,530	△11.2	880	△3.6	80 22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の適切な利用に関する説明

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
5. 参考情報	10
(1) 当四半期の個別業績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかに回復が続いております。また、新政権による景気対策への期待感からの円安、株高等により、設備投資や個人消費にも緩やかながら持ち直しの兆しが見え始めています。一方、海外経済は欧州政府の債務危機の長期化、新興国の経済成長も鈍化傾向が顕著となる等、先行き不透明な状況が続いています。

主たる事業の放送業界においても、広告活動に対する企業マインドは昨年度の落ち込みから回復しつつあります。そのような状況の中、当社グループは放送事業はもとより、その他事業においても収益確保に努めました。その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は175億11百万円(前年同期比 0.5%減)で減収となりましたが、経費節減等により営業利益は12億4百万円(前年同期比 11.7%増)、経常利益は12億62百万円(前年同期比 10.8%増)、四半期純利益は7億25百万円(前年同期比 16.9%増)でいずれも増益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①放送事業

放送事業は、収入122億18百万円(前年同期比 1.9%増)、営業利益8億62百万円(前年同期比 5.0%減)となりました。

テレビ部門は、収入106億70百万円(前年同期比 1.3%増)となりました。タイム収入は1.9%減となりましたが、制作収入は新番組のスタートにより22.1%増、スポット収入は0.5%増となりました。業種別では、化粧品・洗剤、卸売・小売などが落ち込んだものの、輸送機器、精密・事務機器などが伸びました。

ラジオ部門は、収入15億47百万円(前年同期比 6.2%増)となりました。スポット収入は9.5%増、タイム収入も6.4%増となりました。

損益面では番組制作費が増加し、減益となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入29億92百万円(前年同期比 8.3%減)、営業損失1億46百万円(前年同期は営業損失2億27百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では業界内の競争が一層の厳しさを増す中、自治体向けソフトウェア開発の受注が減少し、減収となりました。損益面では開発経費、外注費の削減等コスト管理を徹底し、営業損失が縮小しました。

③不動産事業

不動産事業は、収入10億28百万円(前年同期比 3.6%減)、営業利益5億56百万円(前年同期比 1.4%増)でほぼ前年並みとなりました。

④その他事業

その他事業は、収入21億62百万円(前年同期比 3.8%増)、営業損失62百万円(前年同期は営業損失1億43百万円)となりました。

僱事部門では、蜷川幸雄演出のシェイクスピア劇「トロイラスとクレシダ」、「輝ける皇妃エリザベータ展」、「フェルメール「真珠の首飾りの少女」 in ベルリン国立美術館展」などを開催したほか、「マイケル・サンデル教授 in 福岡 若者の希望と幸せの創造」を企画制作しました。また、コンテンツ部門では、データ放送サービス「よん d a y」、ライツ部門でも映画の出資に対する分配金の増加により、すべての部門で増収となり、損益面でも営業損失が縮小しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億54百万円減少し、377億74百万円となりました。これは主に、たな卸資産が2億21百万円増加したものの、回収等により受取手形及び売掛金が8億89百万円、現金及び預金が6億4百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ17億9百万円減少し、112億81百万円となりました。これは主に、支払等により未払法人税等が5億10百万円、未払費用が4億70百万円、未払金が2億80百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億55百万円増加し、264億93百万円となりました。これは主に、四半期純利益を7億25百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期における業績は、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成24年11月9日に公表いたしました平成25年3月期の通期の業績予想を修正しております。この結果、通期については売上高239億40百万円、営業利益13億30百万円、経常利益14億10百万円、当期純利益7億60百万円を見込んでおります。

(参考)

・平成24年11月9日発表の業績予想(通期)

連結:売上高237億60百万円, 営業利益13億10百万円, 経常利益13億60百万円, 当期純利益7億50百万円

個別:売上高184億10百万円, 営業利益13億20百万円, 経常利益13億50百万円, 当期純利益7億70百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,802	4,197
受取手形及び売掛金	3,734	2,845
有価証券	30	85
たな卸資産	177	399
その他	2,851	2,962
貸倒引当金	△13	△9
流動資産合計	11,582	10,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,929	7,740
機械装置及び運搬具(純額)	1,364	1,423
土地	13,321	13,321
その他(純額)	253	216
有形固定資産合計	22,868	22,701
無形固定資産	61	72
投資その他の資産		
投資有価証券	3,594	3,475
その他	1,033	1,061
貸倒引当金	△11	△16
投資その他の資産合計	4,616	4,520
固定資産合計	27,546	27,293
資産合計	39,129	37,774
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	317	189
短期借入金	727	727
未払法人税等	680	169
設備関係支払手形	88	213
アナログ設備撤去引当金	16	16
資産除去債務	27	9
その他	3,203	2,515
流動負債合計	5,060	3,840
固定負債		
長期借入金	1,368	1,104
退職給付引当金	5,015	4,957
アナログ設備撤去引当金	25	25
負ののれん	35	24
資産除去債務	5	5
その他	1,480	1,323
固定負債合計	7,930	7,441
負債合計	12,991	11,281

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	24,822	25,384
自己株式	△175	△176
株主資本合計	25,212	25,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309	147
その他の包括利益累計額合計	309	147
少数株主持分	615	573
純資産合計	26,137	26,493
負債純資産合計	39,129	37,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	17,598	17,511
売上原価	10,939	10,709
売上総利益	6,659	6,801
販売費及び一般管理費	5,581	5,597
営業利益	1,078	1,204
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	74	56
その他	33	35
営業外収益合計	110	95
営業外費用		
支払利息	46	34
その他	2	2
営業外費用合計	49	37
経常利益	1,139	1,262
特別利益		
国庫補助金	46	—
その他	12	—
特別利益合計	58	—
特別損失		
固定資産除売却損	16	7
ゴルフ会員権評価損	11	5
和解金	—	70
その他	14	0
特別損失合計	41	83
税金等調整前四半期純利益	1,155	1,178
法人税等	583	492
少数株主損益調整前四半期純利益	572	686
少数株主損失(△)	△48	△39
四半期純利益	620	725

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	572	686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	△162
その他の包括利益合計	△89	△162
四半期包括利益	483	524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	531	563
少数株主に係る四半期包括利益	△48	△39

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 合計
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,868	3,221	823	1,685	17,598	—	17,598
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	42	243	398	801	△801	—
計	11,986	3,263	1,066	2,083	18,399	△801	17,598
セグメント利益又は損失(△)	908	△227	548	△143	1,085	△7	1,078

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,085
セグメント間取引消去	△7
四半期連結損益計算書の営業利益	1,078

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 合計
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,069	2,933	805	1,703	17,511	—	17,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149	59	222	458	890	△890	—
計	12,218	2,992	1,028	2,162	18,401	△890	17,511
セグメント利益又は損失(△)	862	△146	556	△62	1,210	△6	1,204

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,210
セグメント間取引消去	△6
四半期連結損益計算書の営業利益	1,204

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 参考情報

(百万円未満切捨て)

(1) 平成25年3月期第3四半期の個別業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

【個別経営成績(累計)】

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,006	2.3	1,293	5.3	1,339	7.0	782	14.1
24年3月期第3四半期	13,693	4.6	1,228	23.7	1,251	22.5	685	25.9

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	71	33	—	—
24年3月期第3四半期	62	49	—	—

【個別財政状態】

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	32,775	23,804	72.6
24年3月期	33,662	23,349	69.4

【個別売上明細】

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
テレビ収入	10,529	76.9	10,670	76.2	141	1.3
ラジオ収入	1,456	10.6	1,547	11.0	90	6.2
不動産事業収入	762	5.6	751	5.4	△11	△1.5
その他事業収入	944	6.9	1,036	7.4	92	9.7
合計	13,693	100.0	14,006	100.0	312	2.3